



農村集落をベースに 都市の人、地域の人とつながる

福岡県浮羽町の農家民泊「國武庵」

澤谷 真紀子

(よかネットNO.44 2000.3)

- 3 農業振興

昨年、韓国食べ歩きの旅（アジア・グリーンツーリズムの会の韓国大会が目的だが）で御一緒した福岡県浮羽町の國武夫妻宅へ遊びに出かけ、「かずらで編むランプシェード」「どんぐりで作るトトロ」「ケナフを使って漉いたハガキ」などの手作り体験を楽しんだ。

福岡県浮羽町は福岡市内から高速道路を利用すると1時間位で、棚田とおいしい水が自慢の町だ。「國武庵」はまちの中心部から南側に広がる耳納連山へ向けて車で10分ほどの場所で、山の中に入った10戸の人家からなる妹川（いもがわ）の乙原集落にある。

農家民泊はお客さんの要望に応じて自然にできた

國武家は、ぶどう、かき等の果樹と水田（棚田）と山林を経営する農家で、他に家族が食べる分の野菜も作っている。以前から國武夫妻の人柄にひかれて、親戚や知人、子供の友人などがしばしば泊まりに来ていた。

その時訪れた人達が「たけのこ掘りがしたい」「野いちご摘みがしたい」「昆虫採集がしたい」「田植えがしたい」・・・など色々なことを言うので、要望をかなえてあげようと試行錯誤し、一緒になって楽しんでいる内に口コミで広がっていった。

そのうち、友人を介しての来訪者も増えてくると、今度は、泊まる人が「タダじゃ申し訳ないし、次に来にくくなる」という要望をだすようになった。

平成10年よりB & B形式（Bed&Breakfastの略、宿泊と朝食のみ）の民泊を始め、現在は宿泊・朝食で3500円（夕食は1500円プラス）、体験1500円（内容による）程度で宿泊と体験ができるようになっていく。

私が友人と一緒に遊びに行く前に送られてきたFAXには、宿泊所の要望に応えた結果生まれた

体験メニューがぎっしりあって、その下の方には「これ以外の体験『これやってみたいな』と思うことを、相談してください。」と書かれていた。すぐ立派なニーズ指向の田舎体験サービス業だと思ふ。

農業が忙しければ民泊は休み

しかし、田舎体験が本業ではなく、「うちは農業が本業だから」と國武さんは言う。そのため、ぶどう、柿の摘蕾、摘花（ ）、袋かけや出荷など、農繁期に民泊への予約の電話があったとしても、「今は忙しいのですみません」と断るようにしている。

農業というしっかりとした基盤があるから、田舎体験サービス業が成り立つのであって、民宿のために農業を疎かにはしない、という集落全体で取り組む農業へのこだわりのようなものがあるように思う。だからこそ、浮羽の自然と農業が、國武一家のサービスと一緒にあってイキイキとした魅力になって、ひいてはここを訪れる人が後を建たないということになるのだろう。

集落のつながりと若い人の力で元気な地域へ

よそから来る人に対してだけでなく、農村での暮らしに根付いた地域サービスも行っているようだ。

滝の谷コンサート

- 第一回（平成8年） 入場者300人
篠苗（尺八や横笛） 藤崎重康氏
- 第二回（平成9年） 入場者250人
ジャズ 福岡城（7名のグループ）
- 第三回（平成10年） 入場者280人
ルネッサンスバロックの音楽と舞踏
グループ「葦」（フェンパー、リョーダー、ビ・オ・ダ・カバ）
の7名のグループ）
- 第四回（平成11年） 入場者250人
アフリカン・パーカッション
ビック・ノイズ・ワン（4名のグループ）



國武庵、広い庭と高い天井・太い柱の家、
澄み渡る夜空に星がきらきらしていた



かずらで籠づくりに挑戦

年に1度、庭先で行われ毎年250～300人ぐらいの人を集めている「滝の谷コンサート」(町内：町外の割合はほぼ5：5)では、集落内の「とうちゃん、かあちゃん」や若い人が積極的に参加し、運営から進行、会場設営、接待用の団子作り等、いたるところで係わり、自らも楽しんでいる。

また、集落内の奥さん達に働きかけ、年に2～3回、集落内の高齢者を集めた交流会(「宅老所のようなこと」と仰っていた)を開くなど忙しい。

これらの地域内活動について年輩の人の中には「そんなことしなくても・・・」と言う人もいるらしい。しかし「地域で暮らす次の世代のことを考えると、ここで古い慣習を破って若い人を取り込んでいかないと集落が続かない」と言ってがんばっている。

韓国のシンポジウムで、國武さんはグリーンツーリズム実践者として「人のつながりを大切にしている。そして一緒に楽しんでいる」と報告されていたが、これは来訪者に対してだけでなく、地域の人達に対してもいえるつながりのことなんだ、と後でうなずいた。

摘蕾(てきらい)・摘花：大きくて味のよい果実を生産するため、蕾や花の時に間引くこと。薬を用いた方法もあるが、國武家では手作業で行っている。